「中小企業優秀新技術・新製品賞」

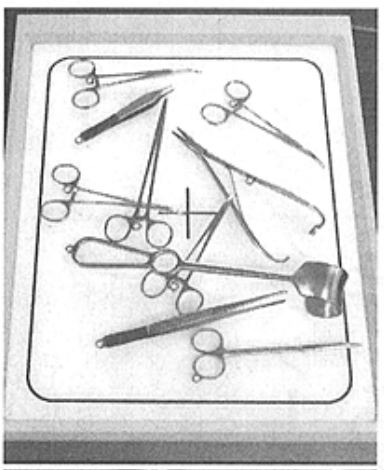
りそな中小企業振興財団と日刊工業新聞社が共催する「第22回中小企業優秀新技術・新製品賞」では、応募総数302件のなかから中小企業庁長官賞1件、優秀賞11件、優良賞10件、奨励賞12件の合計34件が入賞した。一般部門とソフトウエア部門の内訳は、一般部門が応募233件で、中小企業庁長官賞1件、優秀賞8件、優良賞8件、奨励賞9件の計26件が受賞。ソフト部門は応募69件のなか、優秀賞3件、優良賞2件、奨励賞3件の計8件が選定された。 （1面参照）

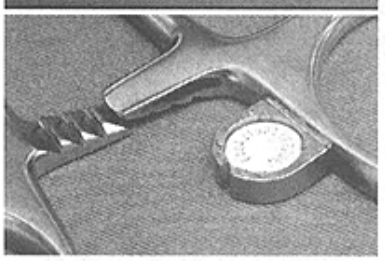
一般部門

中小企業庁長官賞

手術器具用ICタグ管理システム「シムセーフ」

KRDコーポレーション





手術器具取り付け用のセラミックICタグとその管理システム。手術器具の患者の体内への置き忘れなどを防ぎ、器具それぞれの洗浄滅菌履歴をはじめとする個体管理に役立つ。遅れている医療現場のIT化を促進して、医師や看護師の作業負荷を大幅に軽減できる。医療の安全性向上にも直結する。

システムはセラミックICタグを取り付けた手術器具、小型のタグを確実に読み取り書き込むための高性能なリーダー／ライターとアンテナ、および手術器具管理アプリケーションから構成される。管理用タグは、無線識別（RFID）ICチップと被覆銅線を巻いたコイルからなるICタグインレットをセラミック容器に入れて作成する。

取り付けは、新規品には器具の製造段階でタグを収めるポケットを作り、そこにICタグを埋め込み固定する。流通品や完成品では、セラミックICタグを収めたステンレス製の金属ホルダーを銀ろう付けあるいはレーザー溶接機を使って溶接する。セラミックICタグは金属ホルダーに挿入された後、4本のつめをつぶすことで、必要なあそびを保ちつつ、ICタグが金属ホルダーから外れることのない確実な固定方法を採用した。

手術器具の使用履歴や洗浄・高温高圧殺菌の履歴管理を実現。すべてのプロセスを通して、手術器具の個体管理を確実に行える。手術器具に限らず、医療用インプラント、インプラント用術具、動力工具など滅菌が必要な手術工具、歯科医療用の器具などへの応用が検討されている。

（神奈川県大和市、046・271・1500）

■1面記事

中小企業優秀新技術・新製品賞

KRDコーポレーションに長官賞

りそな中小企業振興財団と日刊工業新聞社が共催する「第22回中小企業優秀新技術・新製品賞」の入賞案件が、審査委員会（吉川弘之委員長＝科学技術振興機構研究開発戦略センター長）の審議により決定しました。

KRDコーポレーション（神奈川県大和市）の「手術器具用ICタグ管理システム」が中小企業庁長官賞に輝いたほか、優秀、優良、奨励の各賞に、一般部門、ソフトウエア部門を合わせて33件が選ばれました。贈賞式は14日11時から東京・飯田橋のホテルグランドパレスで行います。 （受賞案件の詳細を24、25面に掲載）